

吉野家
冬ビール
キャンペーン
開催中

購読のお申し込み ■ 0120-70-3034
http://reader.sankei.co.jp/reader/
配達・集金などのお問い合わせ ■ 0120-34-4646
紙面・記事へのご意見・ご質問 03-3275-8864
(平日9時~18時、土曜~17時、日祝日休み)
u-service@sankei.co.jp
産経ニュース http://www.sankei.com

平成26年(2014) 日刊25837号
11|24[月]
産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN
発行所 ©産業経済新聞東京本社2014
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2
☎東京(03)3231-7111 (大代表)

産経新聞

朝の詩
伸びる予感
横浜市港北区
国広 恵利 52
背が伸びる
予感がする
中学3年の甥が言う
心も
大きく伸びている
運動靴が小さくなり
制服がきつくなる

長野で震度6弱 40人けが

住宅57棟倒壊 余震続く

22日午後10時8分ごろ、長野県北部で震度6弱の地震があった。気象庁によると、震源地は長野県北部で、震源の深さは約5キロ、地震の規模を示すマグニチュード(M)は6.7と推定される。警察庁によると、負傷者は長野市や白馬村など県内で少なくとも計40人になり、うち7人が重傷。住宅倒壊や土砂崩れも相次ぎ、県は白馬村のほか、小谷村、小川村に災害救助法を適用した。余震も続いており、気象庁は警戒を呼びかけた。



地震で倒壊した住宅—23日午前、長野県白馬村(本社ヘリから、山田哲司撮影)

警察庁によると、重傷者の内訳は、長野市で2人、白馬村で4人、松川村で1人。負傷者の多くは倒壊した住宅の住民だった。県によると、白馬村と小谷村で住宅計37棟が全壊、

道路はひび割れて波打ち、崩落した住宅の屋根が道路をふさいだ。平成10年の冬季五輪会場の一つでスキーの街としても知られる長野県白馬村。普段は穏やかな時が流れる集落の様相を、地震の揺れは一変させた。建物被害は196棟。変わり果てた集落の姿に、住民らは途方に暮れた。

山肌を雪が覆う北アルプスの麓にある白馬村の堀之内地区。集落に「歩足を踏み入れると、揺れの強さを示すかのよう」に住宅が無残な姿をさらしていた。

1階部分が完全に押しつぶされた住宅が点在し、道路は粉々に割れた窓ガラスや土壁の破片であふれる。アスファルトも、あちこちに亀裂が入って波打ち、マンホールが10センチ以上浮き上がった。電柱は傾き、一夜明けでも電気が復旧しない世帯は免れて家族は無事だった

200年耐えた家「ミシミシ揺れた」

堀之内地区で暮らす柏原武幸さん(78)は就寝中に揺れが襲ってきたという。自宅は築200年。自慢の太い柱はこれまで、どんな地震にも耐えてきた。だから、「安心だ」と信じて疑わなかった。だが、揺れは、あっけなく柱を曲げ、自宅を傾かせた。全壊は免れて家族は無事だった

もの、「ミシミシ」と家全体が揺れ、何もできず、うずくまっていた。今でもあのときの揺れと恐怖がよみがえる」と語る。地元住民によると、堀之内地区は以前から、地震が頻発する地域のため、「いつ大きな地震が来るか」と住民は日々を過ごし、さきやきあっていたという。堀之内地区で生まれ育つ

23面に続く